

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 18日

事業所名 エターナルプラスアカデミー志家町教室

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3		パーテーションで区切っている	個室がないためパニック時に落ち着ける環境づくりをしていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1		基準人員以上を配置している	加配職員も配置してえつい支援をできるようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	3	トイレに段差があり。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		頂いた意見を参考に、職員で話し合い改善できるよう検討している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	5		第三者評価について検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		毎月ZOOM研修を受けている自治体主体の研修にも多く参加していく。	
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			適切な期間に行っている。	今後も適切に行っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		日々の日案を確認相談しながら決めている。	様々な資格や経験を持った職員で話しあっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			意見を出し合い行っている。	様々な資格や経験を持った職員で話しあうことで意見が多く出る。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3			一人一人に合わせきれてないところもある。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標	
支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		朝のミーティング時に行っている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4	翌営業日に全員で行っている。	業務終了時には限られた人数になってしまっているため必ず翌営業日にも再度確認している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	3	毎回行っている。	内容が不十分な時もある。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		定期的に行っている。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3	1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7		送迎時に行っている。	今後も情報共有を密に行っていく。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	2	該当者なし。	該当者がいた場合に適切に対応する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	2		新規での利用の際には情報共有をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	2	該当者なし。	該当者がいた場合に適切に対応する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	4	公共施設に行つた際に同じ活動をするがある。	保護者の希望があった際には検討していく。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	4		今後協議会へ積極的に参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時や連絡帳にて情報共有をしている。	今後も情報共有を密に行っていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2		おたよりにて紹介している。	おたよりだけでなく実際に、	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容及び改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に行っている。	契約時はもちろん不明時や変更時にも適切に行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1		保護者参加の活動を行った。	感染症が落ち着いてきたため、来年度は回数を増やすことを検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月おたよりを発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3		4		利用児の様子や保護者のニーズ踏まえて検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3			HPに載せているが周知が足りないためお知らせしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定期的に様々な災害を想定して行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			定期的に行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1		契約時に説明し同意書をもらっている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			報告書を作成し、情報共有している。	